

一 般 質 問 通 告 事 項

(令和2年第2回白岡市議会定例会)

※今定例会での一般質問は、新型コロナウイルス感染症に関することのみとし、各会派から選出された議員1人が質問いたします。

第1通告者

9番 渡 辺 聡一郎 議員(創政会)

1 感染拡大防止対策の強化・徹底について

(1) 市は感染拡大防止のためにどのような取組を行っているか。これまで具体的に何を検討して何を実行したか。

(2) 「白岡市新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づいた対応は適切に行われているか。計画内の各種取組について伺う。

ア 市新型コロナウイルス感染症対策本部の構成員について伺う。

また、市新型コロナウイルス感染症対策本部会議の消防部局は誰が担うのか。対応の機動性に問題はないのか。

イ 「地域連絡会」は設置されたのか。関係機関や地域の行政区長等との相互連絡体制は整っているか。また、県との情報共有が不足していたと考えるが、連携はどのように行われているか。

ウ 市民への情報提供は十分か。広報車や横断幕での周知が必要ではないか。また、感染対策の広報号外を発行すべきだが。

エ 市役所内で感染が発生した際に速やかに対応するため、「白岡市感染症対策マニュアル(業務継続計画)」の整備が必要ではないか。あるとすれば、具体的な内容等を伺う。

(3) 複合災害への対応について伺う。地震や台風等における避難指針と備蓄品の見直し、3密の回避など避難所感染対策が必要ではないか。

ア 避難所の過密をどのように回避するか。在宅避難又は親族・友人宅への避難や避難所の増設等を検討すべきではないか。

イ 避難者の衛生・健康管理について伺う。避難所での感染対策や備蓄品の確保、避難者の居住スペースの確保をどのように考えて

いるか。

ウ 感染が疑われる避難者への対応は。自宅療養者の避難、発熱等
症状が出た方への対応、避難者が新型コロナウイルス感染症を発
症した場合の対応は。

2 学校休業等への対応について

(1) 家庭での過ごし方についてどのような指導がなされているか。休
校中の子どもたちの経過観察はどのように行われているか。

(2) 感染症等による危機の再来に備えオンライン授業の導入を進める
べきと考える。教育委員会・市はどのように考えるか。また、各家
庭の通信環境の把握はされているか。

ア オンライン学習の環境整備事業の交付金申請がなされているが、
具体的にどのような学習が行われるのか。将来的にどのような学
習環境を目指しているのか。

イ 環境整備をどのように進めていくのか、ロードマップを伺う。
また、オンライン学習の課題をどのように認識しているか。

3 経済対策について

(1) 特別定額給付金の給付業務に遅れはないか。また、窓口対応やオ
ンライン申請について周知は十分なされているか。

(2) 新型コロナウイルス緊急経済支援室の取組について伺う。市独自
の経済対策についてどのような検討がなされたか。また、更なる支
援の拡大を検討できないか。

ア 緊急経済支援室に事業者から相談などは寄せられているか。ま
た、商工会等と連携し、市内商工業者の実態調査は行われている
か。

イ 市内商店で使用できる商品券の配布等、市内経済の活性化に向
けた支援を検討できないか。

ウ 新型コロナウイルス感染症対策に係る寄附を募る基金を設置し、
医療体制の整備や感染症拡大対策、事業者・生活困窮者支援等に
活用できないか。

(3) 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し

た事業について伺う。

ア 19の事業が発表されたが、どのように事業を検討・決定したのか。また、支援の方向性は。

イ 「防災活動における感染拡大防止事業」にて購入する避難所の間仕切りテントはどのように活用するのか。数は足りているのか。

ウ 交付金を活用した医療関係支援が必要と考える。オンライン診療を促進するための支援や発熱外来の設置等の支援は。

4 医療提供体制等の強化について

感染者への対応や検査の拡充、収容施設の確保について、どのように考えているのか。関係機関と連携した医療提供体制等の強化が必要ではないか。

(1) 県や保健所との連携体制を構築し、自宅療養者への対応、行動管理、クラスター対策などを県と市で分担して行うべきではないか。

(2) 市は感染症における患者数の推計を出しているが、収容について計画はあるのか。施設の確保をどのように考えているのか。

(3) 地域における発熱外来PCRセンターの設置について、市はどのような支援を行うか。また、市独自のウォークスルー・ドライブスルー検査外来の設置に関する調査を進められないか。

5 全体を総括して

市長は今般の新型コロナウイルス感染症対策について、どのような点に課題があると考えているか。また、第2波の流行に備えてどのような対策を進めるべきと考えるか。

第2通告者 5番 関 口 昌 男 議員(日本共産党)

1 公共施設の閉鎖等による指定管理者への施設利用料の補填をすること。

(1) 指定管理者の利用料金の実態はどのようなものか。

(2) 利用料金の減収の実態はどのようなものか。

(3) 損失補償をすべきと考えるが。

2 小・中学校の授業再開に当たってのカリキュラム編成は弾力的に運営を。

- (1) 小・中学校の授業再開のスケジュールについて
- (2) 不登校児童生徒の急増をどう考えるか。
- 3 学校のサポート体制をこれまで以上に強化すること。
 - (1) 学校のサポート体制強化の必要性について
 - (2) 教員の定数増員問題を県・国に要望を。
- 4 小・中学校の学校給食を今年度は無料とすること。

緊急事態の中で今年度は無料化できないか。
- 5 非正規の教職員に対する休業補償を実施すること。
 - (1) 非正規の教職員の臨時休業中の処遇について
 - (2) 新型コロナウイルス感染症に対応した臨時休業の実施に関するガイドラインについて
 - (3) 学校再開後の従業日の確保と非常勤職員の処遇について
- 6 学校給食室の冷房化を至急実施すること。
 - (1) 夏季休業期間の補習授業の計画はどのようなものか。
 - (2) 給食室の冷房化が必要ではないか。
- 7 生活福祉資金貸付制度の活用について
 - (1) 生活福祉資金貸付制度について
 - (2) この制度の国の運用拡大と新しい運用制度になってからの受付状況について
 - (3) フォローの体制を充実すべきでは。

第3通告者

7番 中山 廣子 議員(公明党)

- 1 複合災害における避難や備えについて
 - (1) 在宅避難の周知と啓発
 - (2) 車中泊避難などの備えとして、弾性ストックングを備蓄してはどうか。
 - (3) 学校施設利用計画
 - (4) 避難所運営マニュアルの見直し
 - (5) 熱中症対策
 - (6) 防災ラジオの導入
- 2 市民への情報発信について

- (1) 来庁しなくてもできる手続などの周知
- (2) 相談窓口の一元化
- (3) テイクアウト実施店舗の周知

3 子どもたちの支援について

- (1) 学習支援員の増員で学習補完を。
- (2) G I G Aスクール構想を推進するために、I C T支援員の配置を。
- (3) 発達障害児などへの支援として、デイジー教科書の導入は。
- (4) 児童・生徒の心身のケアについて

第4通告者 2番 野々口 眞由美 議員(T S U N A G U)

1 子どもを取り巻く環境について

- (1) 早期のオンライン学習をスタートするために、G I G Aスクール構想にかかる費用と、I C T支援員の導入など今後のスケジュールについて伺う。
- (2) 欠席している児童生徒が自宅で授業が受けられるよう、授業のライブ配信を行うのはいかがか。
- (3) リスク回避のため登校を控える児童生徒の扱いについて
- (4) 支援学級の児童生徒への対応はどのようにされていたのか。
- (5) 安心して学校生活を送るための環境整備は。

ア 熱中症対策

イ トイレ対策

ウ 次亜塩素酸水生成器の各校配備は。

エ 養護教諭のサポート体制は。

2 経済支援について

- (1) 市民のニーズをどのように把握し、支援策を決定したのか。また、地方創生臨時交付金がなかった場合、支援のための財源確保は。
- (2) アルバイト収入の減少により、退学を考えざるをえない大学生に対し、市独自の支援策は。
- (3) 生活保護について

ア 生活保護申請状況に変化はあるか。

イ 生活保護の申請者増が予想されるが、個人情報保護のため

の説明場所は確保されているか。

ウ 生活保護を受けやすくするため柔軟な対応が求められているが、担当職員の情報共有はできているか。特別定額給付金（10万円）は収入認定しないこと等、利用者に適切なサポートはできているか。

3 新型コロナウイルス感染症に関する市の対応について

(1) 情報発信について

ア 主な情報は公式ホームページ掲載のみである。そこで、3月からの閲覧数の推移を伺う。

イ 外国人への対応は。

ウ 市民が必要としている情報の把握方法と今後の改善点を伺う。

エ 広報紙や回覧物について、今後の実施方法は。

(2) 自粛生活における高齢者の健康状態について

ア 実態把握をどのようにされているのか。

イ 第2波、第3波に備えた取組について

(3) 防災組織との連携強化について

(4) 白岡市が受けた大きな打撃は何か。それに対する支援策は。

(5) 埼玉県、広域自治体、白岡市医師会との連携について

ア PCR検査が受けられる場所までの移動手段は。

イ 今後の各機関との連携について

第5通告者 10番 加藤一生 議員(清明会)

1 感染防止対策の今後について

「新型コロナウイルスの第2波」に対処するため、当市と当該地区の医師会等とで、どのような話し合い、連携がなされているのか。

(1) PCRセンターの設置計画と実状は。

(2) 当該地区の医療圏「利根南保健医療圏」にPCRセンター設置の計画はあるか。なければ設置を要望してはどうか。

2 支援策の実施状況は

(1) 特別定額給付金（10万円）の実施状況は。

ア 6月4日現在での振込件数

オンラインでの件数、郵送での件数はそれぞれ何件か。

イ 現時点では、当市では申請をする場合、オンラインと郵送、どちらが早く処理されるか。

(2) 「商工の経済対策（支援策）」はどうなっているか。

ア 2つの支援策「家賃補助」と「信用保証料の補助」の進捗状況はどうなっているか。

イ どのような書類を整えて、どこに申請するのか。

ウ 申請の受付は、いつ頃開始される予定か。

3 「マスク」について

今般発生した「マスク不足」について

(1) 当市で「有志やボランティアによるマスクの作製及びマスクの寄附」が行われたと聞くが、それは具体的にはどういうことだったのか。

(2) 「新型コロナウイルスの第2波」に備え、マスクの備蓄はどうなっているのか。